

文化財を訪ねて — 見てある記 —

夏の風物詩 桶川祇園祭

昨年来、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国的に夏祭りやイベントが中止となつていま

す。例年7月15日、16日に中山道を祭り一色に染める「桶川祇園祭」も、令和2年と3年は神事を中心に行われ、神輿の渡御や山車の巡行が中止となりました。そこで、紙上で「桶川祇園祭」を紹介いたします。



神輿の連合渡御

谷)の5つの構成団体によって実施されます。なお、桶川宿の四つの町会では、輪番で祭典委員長を務める「年番長」を選出します。

桶川祇園祭は、元文3年(1738)に桶川宿にあった市神社である天王社の祭礼として始まったと伝えられています。この市神社は明治時代に寿2丁目の稻荷神社に移され、末社八雲神社として祀られています。江戸時代から行われるようになった桶川祇園祭は、桶川宿の隆盛とともに山車や神輿、獅子頭(夫婦獅子)などが整えられました。一時期、中断しましたが、市制施行を契機に桶川の都市祭礼として復活し、発展してきました。

桶川祇園祭は、京都八坂神社の祇園祭と同じように宿場内の疫病退散と家内安全を願う祭りです。例年ですと、この時期には疫病退散の願いを込め、各地の八坂神社、八雲神社などでは「祇園祭」「天王様」が行われます。

【山車】桶川祇園祭の山車は、大正3年(1914)に中山道に電線が架設され、一変しました。山車人形が電線の接触を避けるため降ろさ

れ、現在のような屋台型の山車になりました。八雲会の山車は、回り舞台形式から固定のものに変わりました。



明治40年頃の祇園祭での写真

【山車人形】八雲会の山車には、市指定有形民俗文化財の山車人形「神武天皇」が飾られていました。この山車人形は、明治20年(1887)頃に購入したと伝わり、明治25年と同44年(1911)に大改修が行われています。この神武天皇は2メートル以上ある大ぶりで頭の作風は迫力があります。

祭会の山車には、市指定有形民俗文化財の山車人形の三国志の英雄「関羽」が飾られていました。この山車人形は、明治25年(1892)に幸手市の生人形師によって作られた迫力ある人形で、美術工芸的にも価値の高いものです。生人形とは、物語の登場人物を逼真的に表現した等身大の人形で見世物興行に使われ人気を博しました。

また、本街の山車にもかつては山車人形「天照大神」が飾られていたと伝えられています。

【神輿の渡御】桶川祇園祭を盛り上げるものとして、各町会の神輿があります。15日には年番町会の神輿を先頭に5基の神輿が中山道を渡御する連合渡御が行われます。16日には桶川駅前交差点で4基の神輿の担ぎ合わせが行われ、各町会の若衆によって激しく神輿が担がれます。また、16日に行われる三つの町会の山車が向かい合って行う囃子と踊りの競演「ひっかせ」は祭を一層盛り上げます。

【夫婦獅子】桶川宿本街保存会には、寛延2年(1749)制作の夫婦獅子と呼ばれる一対の大きな獅子頭が伝わっています。この獅子頭は、本街の有志によって商売繁盛と家内安全を祈願して舞ったのが始まりといえます。また、江戸時代後期に疫病が流行したため疫病祓いの祈願を行っています。

「桶川祇園祭」が来年こそは盛大に実施されますことを心から願っております。

桶川市文化財保護審議会委員
板垣時夫

※市ホームページもご覧ください。

桶川祇園祭をもっと知ろう

検索

「広報おけがわ」は自治会で配付されるほか、市内のスーパー・郵便局・公共施設・桶川駅および一部コンビニでもお取り扱いいただけます。
「広報おけがわ」は、紅花の会の協力により拡大写本、音訳が行われています。希望する人は秘書広報課☎788-4901へ。
「広報おけがわ」の広告については、桶川市が推奨しているものではありません。

9月号の締め切りは、7月9日(金)です。
※締め切りを過ぎた場合は翌月号の掲載となります。

市民伝言板



※内容・文責については、団体に問い合わせください。
※公共施設で活動する団体は、場所が変更になる場合があります。

募集します

障害者等の福祉制度改革に是非あな
たの一石を『桶川市身体障害者福祉会』
身体障害者手帳保持者、手帳希望
者、障害者支援対象の難病児者、
家族または友人、障害者福祉に関心
をもたれている方、本会の目的に賛
同される方/年会費1,500円、
団体5千円/「明るく・元気に・楽
しく支え合う」を指針に、福祉の向
上と親睦を目的に日帰り研鑽旅行や
保養旅行の実施・市民まつりやボラ
ンティア活動等にも参加。障害者等
の福祉制度等の改革には大勢の声が
大切です/鍛冶屋(泉2) ☎090-18
101-8522、山岸(坂田東3)
☎080-4446-9634

参加者募集「なつメロを唄う集い」
10月8日(金)9時45分から/市民ホ
ール/参加費3千円/申込締切7月25
日(日)/鈴木 ☎71-3350
空手道を習おう『桶川市空手道連
盟公認 あさひ空手クラブ』
毎週土曜日17時~18時30分/朝日小
学校体育館/10人/月額2千円(家
族割り半額)/オンラインピックはもうす
ぐ。コロナ対策をして、安全に稽古
をしましょう/藤井 ☎78-1177
健康体操『ながら会』
毎月第2・3・4月曜日(祭日除く)
の9時30分~11時30分/加納中央集
会所/10人/入会金500円、月額100円
/60歳以上99歳未満/柔軟体操と百
歳体操を基本に101歳迄動ける身体を
皆んなで笑いながら作りましょう。
見学大歓迎/伊藤 ☎78-2658
俳句の会『草萌』
毎月第2土曜日13時30分~16時/ベ
ニバナウオーク1階桶川市民活動サ
ポートセンター/月額1,500円
/年齢不問。初心者大歓迎。講師・
竜野竜先生/前畑 ☎78-0278
卓球の基本練習『ベストフレンド』
毎週金曜日18時~21時/サン・アリー
ナ/4人/入会金千円、月額千円/
卓球が大好きな方/基本練習の繰返
しです。今より少し上手になりたい
方、技術を向上させたい方。見学飲
迎/鴨田 ☎90-2629-2001

はっぴい
ばーすでい

9月生まれ の子どもの写真(3歳まで)を募集します。応募は写真(顔全体がはっきりと写って
いるもの、裏面にお子さんの名前)と、別紙に①お子さんの名前(ふりがな)②生年月日③保護者名
④住所⑤電話番号⑥簡単なメッセージ(50字程度)を明記し、【郵送】【直接】または【Eメール】で
お送りください。(7月15日(木)消印有効)※応募者多数の場合は抽選となります。※過去に掲載され
たお子さんのご応募は、ご遠慮ください。

7月生まれ
だよ!
高野 新ちゃん (坂田東)
松本 壮恭ちゃん (坂田西)
原 彩夏ちゃん(左) 原 唯夏ちゃん(右) (坂田東)
新君、1歳のお誕生日おめでとう☆
いつも素敵な笑顔と癒しをありがとう♡
お兄ちゃんと仲良く、大きくなっ
てね!大好きよ~♡
そうちゃん3歳のお誕生日おめでとう!
いつも笑わせてくれてありがとう♡
大好きなカブトムシ探しに行こ
うね!!
3歳お誕生日おめでとう!毎日元気
いっぱい!笑顔がありがとう。これ
からも2人らしく、キラキラした
日々を過ごせますように♡
細野 凱斗ちゃん (坂田西)
塚田 美月ちゃん (加納)
長江 優月ちゃん (寿)
武田 菜未ちゃん (下田出谷)
3歳のお誕生日おめでとう!いつも二
こニコなかいとに癒されてるよ♡こ
れからもたくさん発見して経験して
一緒に成長しようね♡
3歳のお誕生日おめでとう♡お姉
ちゃんの事が大好きな暴れん坊さ
ん。怪我に気を付けてすくすく育っ
てね!
お誕生日おめでとう!いつもたくさ
んの笑顔がありがとう♡これからも
元気に幸せいっぱい大きくなってね!
菜未ちゃん2歳のお誕生日おめでとう!
いつも家族を楽しませてくれて
ありがとう♡これからもお姉ちゃん
と仲良く元気に育ってね!

「はっぴいばーすでい」
「おけがわ文芸」
のあて先
〒363-8501 桶川市役所秘書広報課 「はっぴいばーすでい」
または「おけがわ文芸」コーナー
Eメール hisho@city.okegawa.lg.jp

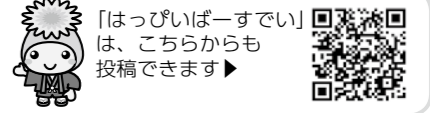


Photo Sketch



マスクの寄付に対し
感謝状を贈呈

新型コロナウイルスの感染防止対策として、不織布マ
スク(5万枚)を寄付いただいた(一財)日本太鼓協会様に
感謝状を贈りました。(6月3日)

第22回春季グラウンド・ゴルフ大会 大会結果

とき▶4月22日(木) ところ▶城山公園 多目的広場 参加人数▶81人(男子46人 女子35人)
主催▶桶川市グラウンド・ゴルフ協会

Table with 4 columns: 男子の部 (優勝: 森田 滋, 準優勝: 伊藤 正章, 3位: 佐藤 省吉), 女子の部 (優勝: 木村 光子, 準優勝: 清水 昌子, 3位: 伊藤 文江)

*H...ホールインワンの数

おけがわ文芸

俳句 (選句協力: 桶川市俳句連盟)
晩学の夢あまたなり豆の花
草笛をトランペットに似せて吹く
ゆつたりと余生を生きて花の下
春コート背のベルトの蝶結び
青蛙柳めがけてハイジャンプ
風鈴や肩を寄せ合ふ老二人
田植機に続く園バス介護バス
通院の額紫陽花の日々に濃く
若葉風隣のインコ脱走す
薫風や菩提寺までの石畳
短歌
リハビリの父にやさしき春の風遠き日の我ヤングケアラー
背を屈め老夫は枝に手を添えてそっと嗅いでる花の香りを
路渡る幼児達の挙げた手と黄色い帽子に春の陽注ぐ
終電に企業戦士は眠りをり家族の暮らし双肩に乗せ
意気栄かんシルバ人材朝仕事落葉を積んで一輪車押す
「二年生になりました」との曾孫のふみ学びの日々をくり返し読む
幼児と傘寿の我としやばんだま雲ひとつ浮く空に向かひて
(敬称略)